

「イクケン香川」 たまご育て事業

他孫(たまご)育て応援講座

これまで培ってきた人生のスキルや、ゆとりができた時間を活かして、地域子ども（他孫）や家庭をサポートする応援隊になるための講座。受講後に、ボランティア希望者には受け入れを希望している「子育て支援団体」を紹介し、実際に数名の方がボランティアとして地域の団体で活躍をスタートされています。

- 日時 ● 【高松会場】9月9日（月）15:00～17:00 香川県社会福祉総合センター 参加者 27名
 ● 【中讃会場】10月24日（木）15:00～17:00 丸亀市保健福祉センター 参加者 10名
 ● 【西讃会場】12月5日（木）15:00～17:00 みとよ未来創造館 参加者 10名
 講師 ● 高松短期大学 山本幾代先生 / NPO 法人わははネット 理事長 中橋 恵美子

【第1部】「子どもの発達や子ども・保護者との関わり方」

高松短期大学 山本 幾代先生



子どもたちの体験、人とのつながりが希薄化

核家族化や少子化等が影響して、子どもたちの生活も変化してきているというお話でした。「サザエさん」一家のように、地域の人とのつながりがあり、3世代が同居しているような家庭も減ってきています。一緒に家族で食卓を囲むという経験も少なくなってきており、その結果、生活習慣や基本的な食生活を身に付ける経験自体が減ってきてしまっているということでした。

こんな時代に求められる支援とは

子育ては24時間営業のコンビニを一人で営業しているようなもの、ある母親から言われた一言です。そんな母親の第1の願いはと聞くと、一人でトイレに行きたい、という本当にささやかな願いが語られるといいます。1対1で子育てに向き合う、切羽詰まった親の気持ちが伝わってきます。こんな時代だからこそ、すべての親子に支援が必要だと。だからこそ『他孫育て応援講座』を受講されている方々は、本当に大事な役割を担うことができると先生はおっしゃっておられました。

その後、実際に絵本を使った子育て支援のコツをお伝えいただき、参加者からはぜひ自分も孫や地域で読み聞かせをしてみたいとの声がありました。



【第2部】「県内の子育て支援団体の取り組みと、

シニアボランティアへの期待」

NPO 法人わははネット 理事長 中橋 恵美子



子育て家庭を取り巻く課題

晩婚・晩産化による少子化や、ダブルケアの課題、地域
のつながりが希薄化していることによる弊害、自分自身が
生まれ育った土地以外で子育てをするアウェイ育児、仕事
と家庭の両立、虐待の問題等、子育て家庭を取り巻く課題
は、多様化・複雑化してきているとのことでした。

シニアボランティアへの期待

たくさんの課題を抱える現在の子育て家庭、それを地域
で支える仕組みもなくなってきています。そんな今だから
こそ、他孫（自分の孫だけでなく、他人の孫）にも関心
を持ち、あたたかく見守ってくれたり、少し力を貸してい
ただけたりするシニアの方の力が、必要な時代になってき
ているとのことでした。

最後に、具体的にシニアの方がボランティアとして活躍
できる場を紹介するとともに、地域の子育ての情報を知る
際は、「子育て県かがわ」情報発信サイト『Colorful』を
見ていただくように呼び掛けて、講義の終了となりました。



「子育て県 かがわ」情報発信サイト

Colorful



(<https://kagawa-colorful.com/>)

参加者アンケートより(一部抜粋)

- 今の若い世代のお母さん、お父さんは戸惑いの中で子育てをしているという現実なのですね。手助けできる場がたくさんあるということをはじめて知りました。
- とても考える機会になりました。遠方にいるアウェイ育児中の娘のこと、より理解できました。ありがとうございました。
- 絵本の選び方、聞かせ方など、大変参考になりました。自分の子育ての時、忙しさでできなかったので、どこかで今日の研修で得たことを生かせる事が出来たらと思いました。
- 軽い気持ちで受講しましたが、とても奥深く、意味の多いことと、いまさらながら、子育ての大切さを感じました。私の年齢でもできることがあるかも、自分の子育てを反省しつつ思いました。本日は貴重な経験をさせていただきありがとうございました。
- 山本先生の大ファンで、とても良いお話を聞いて良かったです。今自分ができることから地域に貢献できればいいなと思います。
- ご近所の子供たちと仲良くしようと思いました。
- 何か人のお役に立てることはないかと参考の為講座を受けました。少子化になり、大切な子供たちが将来幸せな生活が送れるよう願います。